

第16回

全国大学コンソーシアム 研究交流フォーラム

大学コンソーシアムとともに始まる大学づくり



開催日時：2019年8月31日(土)・9月1日(日)

開催場所：熊本学園大学 (熊本市中央区大江2丁目5-1)

共催：全国大学コンソーシアム協議会、一般社団法人大学コンソーシアム熊本

後援：文部科学省(予定)、総務省、一般社団法人国立大学協会、一般社団法人公立大学協会
一般社団法人日本私立大学連盟、日本私立大学協会、全国公立短期大学協会
日本私立短期大学協会、全国知事会、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞社
日本経済新聞社、一般社団法人共同通信社



第16回

全国大学コンソーシアム 研究交流フォーラム

➤ **開催日時** 2019(令和元)年 8月31日(土) 10:00~19:30
9月 1 日(日) 9:30~11:30

➤ **会場** 熊本学園大学 (熊本市中央区大江2丁目5-1)

➤ **テーマ** 大学コンソーシアムとともに始まる大学づくり

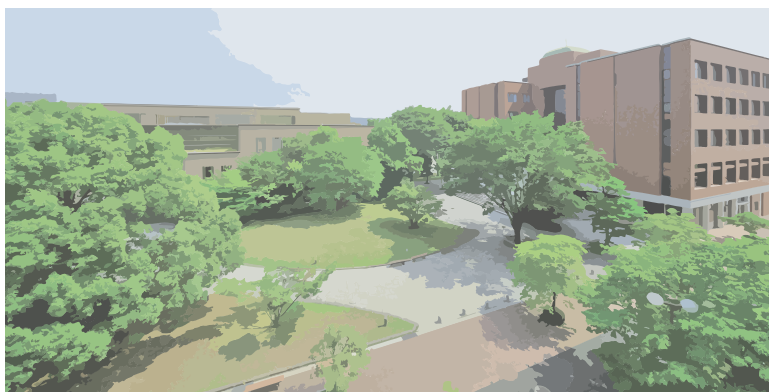
大会趣旨(提案理由)

少子高齢化の進行に伴う諸課題は、わが国の生存基盤にまで影響を及ぼすほどに深刻なものである。特に少子化(1992年度の205万人をピークに減少し、ここ10年ほどは120万人で安定していた18歳人口が、昨年2018年度より再び減少しており、2040年度には88万人にまで減少することが予測されている)は、大学にとって大きな問題である。

一方、国の根幹に関わる教育政策については、初等教育から高等教育まで、さまざまな改革の議論が進んでいるが、それらがどれほどに永続的で効果的であるものかは見通せていない。とくに高等教育では、高大接続を重

視した大学入試改革と、その源泉であるべき教育の成果目標および質保証が社会的要請として強く求められている。

そのような背景から、今回のフォーラムでは、それぞれの地域の知の集合体とも言うべき大学コンソーシアムが議論すべき内容、また、果たすべき役割を考究したい。構成員となるそれぞれの大学が地域人材の養成を担う高等教育機関としてのみならず、役割・機能の明確化・特色化を進め、大学改革や地域に貢献できる大学づくりに資するよう、多岐にわたる課題を検討し、知見と経験を出し合い、未来に向けた実りある学びの機会としたい。



2019(令和元)年 8月31日(土)

第1日目

9:00

10:00

11:30

12:00

12:30

13:00

13:15

14:15

15:00

15:50

16:05

16:50

17:30

18:00

19:30

受付

●14号館
(玄関ホール)

イベント:ワークショップ

●14号館<2階・1421教室>

全国大学コンソーシアム協議会総会

●本館<4階・第3会議室>

開会・挨拶

●14号館<1階・高橋守雄記念ホール>

川野 祐二 氏 (全国大学コンソーシアム協議会 代表幹事)

蒲島 郁夫 氏 (熊本県知事)

全体司会 林 裕 氏 (熊本学園大学 副学長)

基調講演

●14号館<1階・高橋守雄記念ホール>

講演者 姜 尚中 氏 (熊本県立劇場 館長)

テーマ 「大学コンソーシアムとキャンパスアジアの可能性」

休憩

シンポジウム(前半)

●14号館<1階・高橋守雄記念ホール>

テーマ 「大学コンソーシアムとともに始まる大学づくり」

シンポジスト 産業界: 甲斐 隆博 氏 (熊本経済同友会 代表幹事)

自治体: 小野 泰輔 氏 (熊本県 副知事)

大 学: 中山 峰男 氏 (崇城大学 学長)

コーディネーター 半藤 英明 氏 (大学コンソーシアム熊本 代表理事)

休憩

シンポジウム(後半)

●14号館<1階・高橋守雄記念ホール>

基調講演者、シンポジストによる意見交換。会場からの質疑応答

文教行政報告

●14号館<1階・高橋守雄記念ホール>

講演者 三浦 和幸 氏 (文部科学省高等教育局大学振興課長)

テーマ 「高等教育政策の動向について」

閉会

情報交換会

●7号館<1階・レストラン>

ポスターセッション

●14号館
<1階・1412教室、玄関ホール>

コアタイム

コアタイム

2019(令和元)年 9月1日(日)

第2日目

9:00

9:30

11:30

受付

●12号館(1階)

分科会

●12号館<4階・講義室>

教育ネットワーク中国

大学コンソーシアム大阪

大学コンソーシアム京都

学術・文化・産業ネットワーク多摩

大学コンソーシアム熊本

プレイベント:ワークショップ

テーマ 「大学コンソーシアムの運営における課題とその解決に向けて ～課題から紐解く大学コンソーシアムのあり方～ 第2弾(ワークショップ)」

概要

大学コンソーシアムの運営に従事する事務局関係者が一堂に会し、日々感じている「コンソーシアムならではの」課題を共有しながら、その解決方法をともに考えます。ワークショップを通じて「つながる」を支えるコンソーシアム関係者同士がつながりを構築することで、コンソーシアムのさらなる持続的な発展への機運を高めます。

申込み

定員を35名としており、フォーラム申込みとは別に全国大学コンソーシアム協議会事務局より、別途協議会加盟団体へご案内いたします。定員を超えるご応募があった場合は、抽選等により参加者を決定いたします。

コーディネーター

西本 聡子 氏 (大学コンソーシアム大阪)

ファシリテーター

全国大学コンソーシアム協議会運営委員等

(大学コンソーシアム京都、大学コンソーシアム熊本、キャンパス・コンソーシアム函館) 学術・文化・産業ネットワーク多摩、ふじのくに地域・大学コンソーシアム 大学コンソーシアム石川、南大阪地域大学コンソーシアム、教育ネットワーク中国

基調講演

テーマ 「大学コンソーシアムとキャンパスアジアの可能性」

講演者 姜 尚中 氏 (熊本県立劇場 館長)

概要

「地域」をキーワードに、地域の多様なニーズに応える知の集積拠点としての大学間のネットワークが脚光を浴び、さらに高次元連携や地域の教育機関との交流、さらに地域の経済や文化、歴史や伝統など、地域のハード、ソフトにわたるアセットの発掘や開発、発信などが大学コンソーシアムの重要な課題として浮上しています。講演では、日本の抱える最大の課題である地域社会の持続的な再生産の展望を見据え、行政や産業、商工や文化、研究や教育など、多様かつ越境的な領域とかかわる「観光」を中心に、地域の外延を東南アジアを含む東アジアにまで拡大し、九州の中心に位置する熊本県での大学コンソーシアムと「キャンパス・アジア」の未来について語って見たいと思います。

講演者・シンポジスト略歴

1950年、熊本県熊本市に生まれる。国際基督教大学准教授、東京大学大学院情報学環・学際情報学府教授、聖学院大学学長などを経て、現在東京大学名誉教授。2016年 1月より熊本県立劇場理事長兼館長に就任。専攻は政治学、政治思想史。テレビ・新聞・雑誌などで幅広く活躍。最新刊は『維新の影―近代日本一五〇年、思索の旅』(母の教え: 10年後の「悩む力」)

シンポジウム

テーマ 「大学コンソーシアムとともに始まる大学づくり」

概要

本シンポジウムでは、大学コンソーシアムの将来像を地域中心から世界を視野に広く展開していくものとする基調講演を受け、産学官から識見豊かなリーダーを招いて多角的に意見交換するとともに、大学コンソーシアムに期待されるもの、および、その使命や課題などについて議論し、時代が大きく変化しつつあるなか、これからの大学コンソーシアムのあるべき姿を考えます。

コーディネーター 半藤 英明 氏

(大学コンソーシアム熊本 代表理事・熊本県立大学長)

専門分野は日本語学、特に助詞の研究、明治期の文学表現。博士(文学)。1985年3月成蹊大学大学院文学研究科修士課程修了。2001年4月より熊本県立大学文学部日本語日本文学科助教授、2004年4月より教授。文学研究科長、副学長、学術情報メディアセンター長を歴任。2016年4月より学長。公立大学協会理事、熊本市特別職報酬等審議会会長を歴任。現在、中国海南省疾病予防抑制センター客座教授、熊本県歌人協会理事、公益財団法人大学基準協会大学評価委員会委員・基準委員会委員、熊本県私立学校審議会委員など。

シンポジスト① 甲斐 隆博 氏 (熊本経済同友会 代表幹事)

1975年 3月 慶應義塾大学商学部卒業
1975年 4月 株式会社肥後銀行入行
2009年 6月 同行 取締役頭取(代表取締役)
2011年 4月 熊本経済同友会代表幹事(現任)
2015年10月 株式会社九州フィナンシャルグループ取締役会長(代表取締役) (現任)
2018年 6月 株式会社肥後銀行 取締役会長(代表取締役) (現任)

シンポジスト② 小野 泰輔 氏 (熊本県 副知事)

1999年3月 東京大学法学部卒業
1999年7月 アンダーセンコンサルティング
2000年7月 衆議院議員 藤島正之事務所
2002年8月 明豊ファシリティアークス株式会社
2008年4月 熊本県政策調整参与
2010年4月 熊本県政策参与(知事補佐担当)
2012年6月 熊本県副知事(1期)
2016年6月 熊本県副知事(2期)

シンポジスト③ 中山 峰男 氏 (崇城大学 理事長・学長)

熊本市出身。済々黉高校卒業。1971年熊本大学・工学部(生産機械科)卒業、積水化学工業入社。1980年学校法人「君が淵学園」入職。1993年熊本工業大学附属情報技術専門学校校長(現崇城大学専門学校)、1997年法人局長などを経て、2003年(学)君が淵学園理事長、崇城大学学長、(学)文徳学園理事長就任。2016年日本私立大学協会副会長、日本私立大学協会九州支部長就任

文教行政報告

テーマ 「高等教育政策の動向について」

講演者 三浦和幸氏 (文部科学省高等教育局大学振興課長)

概要

昨今の国における高等教育政策の動向について、ご報告いただきます。

講演者略歴

1990年 10月 文部省入省
2005年 4月 高等教育局大学振興課補佐
2012年 4月 九州大学企画部長(兼)特定大型研究支援センター長
2013年 4月 高等教育局国立大学法人支援課国立大学戦略室長
2015年 7月 国立大学法人京都大学教育推進・学生支援部長
2017年 7月 文部科学省高等教育局大学振興課長

ポスターセッション

ポスターセッションでは、全国のコンソーシアム組織の先進的な事例や活動状況を紹介し
ます。また企業の出展も予定しています。実践的な取組みや色々な情報を収集いただく場
として、ご活用ください。

- 時 間 12:00～15:00
- コアタイム 12:00～13:00・14:15～15:00
- 会 場 14号館〈1階・1412教室、玄関ホール〉

情報交換会

立食形式で飲食しながら、全国から参加いただいたコンソーシアム関係者と情報交換がで
きます。また、平成音楽大学による演奏がお楽しみいただけます。ぜひご参加ください。

- 時 間 18:00～19:30
- 会 場 7号館〈1階・レストラン〉

昼食のご案内

第1日目の昼食は7号館1Fのレストラン及び学内のコンビニエンスストアが営業してい
ますのでご利用ください。

バス(帰り)のご案内

第1日目の情報交換会終了後および第2日目の分科会終了後に、熊本駅行きのシャトルバ
ス(無料)を運行致しますのでご利用ください。利用を希望される場合は「参加申込フォー
ム」より申込みください。

分科会

第1分科会

〈一般社団法人教育ネットワーク中国〉

大学コンソーシアムにおけるFD・SD研修

各大学でそれぞれにおいて行う各種研修会とは異なり、コンソーシアムによる研修会は多数の大学から参加者が集まるので異なった効果が期待できます。大学コンソーシアム京都での研修、教育ネットワーク中国における現状についての発表を基に研修の効果について検討します。パネルディスカッションにおいてはクリッカーを使用して、フロアからのアンケートを取りながら議論を進めていきます。議論を通じて大学コンソーシアムの存在意義を探ります。

●報告者

- 吉 貞 正 流 公益財団法人大学コンソーシアム京都 教育開発事業部 副事務局長
向 田 一 郎 広島国際大学 教授 (図書館長、総合教育センター副センター長)
教育ネットワーク中国研修委員会 委員長
沖 裕 貴 立命館大学 教育開発推進機構 教授

●コーディネーター

- 馬 本 勉 県立広島大学 教授(副学長、総合教育センター長)
教育ネットワーク中国 大学間・高大連携委員長

第2分科会

〈公益財団法人大学コンソーシアム京都〉

障がい学生支援と大学コンソーシアム

大学において対応の責務が生じている障がい学生支援は、各大学での取り組みが前提ではあるものの、まだ十分な支援体制が構築されていない、又支援の担当者を配置していないという大学も少なくありません。このような現状に対して、大学間で連携して、支援の知識やノウハウを共有していくことはとても重要になるでしょう。本分科会では、大学コンソーシアムの事業として障がい学生支援に取り組む事例を紹介し、その役割や展望を考える機会にしたいと思います。

●報告者

- 土橋恵美子 同志社大学 障がい学生支援室 チーフコーディネーター
原 田 新 岡山大学 全学教育・学生支援機構 高大接続・学生支援センター 准教授
福 永 隆 文 熊本県立技術短期大学校 情報システム技術科 教授

●コーディネーター

- 村 田 淳 京都大学 学生総合支援センター 准教授
(障害学生支援ルーム・チーフコーディネーター)

第3分科会

〈一般社団法人大学コンソーシアム熊本〉

危機管理と大学の地域貢献—震災対応を事例として—

2016年4月に熊本地震(M7.3)が発生しましたが、震災発生時に各大学は、避難所としての大学開放、被災地でのボランティア活動、被災地住民の精神的ケア、被災地の子どもたちの教育支援、専門分野の教員による復興アドバイスなどを実施しました。これらの取り組みを紹介し、大学の危機管理体制の情報を共有することで、今後想定される自然災害の防災減災対策などに大学がどのように貢献できるか学びの機会とします。

●報告者

- 安 部 美 和 熊本大学 熊本創生推進機構 准教授
照 谷 明 日 香 熊本学園大学 ボランティア・コーディネーター
秋 吉 澄 子 尚綱大学短期大学部 食物栄養学科 准教授
井 出 良 輔 東海大学 学生

●コーディネーター

- 澤 田 道 夫 熊本県立大学 総合管理学部 教授

第4分科会

〈特定非営利活動法人大学コンソーシアム大阪〉

人・大学・まちの成長、発展に繋げる大学コンソーシアムの活動とは

全国の大学コンソーシアムでは、その地域性を生かし、大学や自治体、産業界と連携し特色ある活動が行われており、個々では成しえない活動を複数の組織が連携することで可能とし、幅が広がり、また新たな活動を生み出しています。別の観点では、大学コンソーシアムが核となってユニークな活動の場を設けることで、そこに参画する人々が繋がり、学び、ともに活動することで自身を成長させ、ひいては大学や地域の発展に繋がるとも言えます。ここでは人や大学、そしてまちの成長や発展に寄与するべく活動する「大学コンソーシアム」に対し、今後期待されることについて考えます。

●報告者

- 中 川 邦 彦 大学コンソーシアム大阪 地域連携コーディネーター
松 下 賢 一 甲南大学 地域連携センター事務局 課長
田 中 邦 明 キャンパス・コンソーシアム函館 運営委員

●コーディネーター

- 久 隆 浩 近畿大学 総合社会学部 教授
大学コンソーシアム大阪 企画・運営委員会 委員長、地域連携部会推進委員会委員長
大阪府内地域連携プラットフォーム協議会 委員長

第5分科会

〈公益社団法人学術・文化・産業ネットワーク多摩〉

地域活性化人材をどう育成するか

経済界が求める地域活性化人材とは。地方活性化にとっての人材とは。日本の総人口が長期的減少の局面に入り、大半の地方都市や中山間地において持続可能な地域社会のあり方が問われています。地域における新たな産業形態の創出や地域の活性化に挑戦するための、地方活性化に必要とされる人材育成プランの具体的事例紹介を題材に、「フロア参加のワークショップ形式」で議論します。上記テーマは大学コンソーシアムの明日を占む重要課題です。各コンソーシアムの自由参加でワークショップを開催します。「経団連版地域活性化人材」育成プラン(当日配布予定)を受けて、地域社会に根差した大学改革、大学連携の在り方を現状の課題や将来の展望を踏まえて議論します。

●報告者

- 細 野 助 博 公益社団法人学術・文化・産業ネットワーク多摩 専務理事
中央大学 名誉教授
富 野 暉 一郎 福知山公立大学 副学長
木 村 治 生 ベネッセ教育総合研究所 高等教育研究室長

●コーディネーター

- 細 野 助 博 公益社団法人学術・文化・産業ネットワーク多摩 専務理事
中央大学 名誉教授

申込方法

1 申込み（先着順）

- ① 申込みURLから「メールアドレス確認フォーム」にアクセスし、メールアドレスを登録する。
- ② 登録したメールアドレスに「参加申込フォーム」のURLが届く。
- ③ メールに記載されているURLにアクセスし、申込み手続きをする。
- ④ 申込完了後、「申込み完了メール」が届く。

※申込み完了メールが届かない場合は、協議会事務局までお問い合わせください。
 ※申込み完了後の変更は、一切受け付けられません。
 ※基調講演者、シンポジスト、コーディネーター、分科会報告者の方は申込み不要です。



2 参加費の支払

- ① 申込み手続き完了後、郵送で払込票が届く。
- ② 最寄りのコンビニエンスストアで参加費を支払う。

※取り扱い可能店は払込票の裏面に記載されています。なお、銀行・ゆうちょ銀行などの金融機関ではお支払いができませんのでご注意ください。

【参加費支払締切】

2019年8月9日(金)24:00まで

※申込み手続き・参加費支払いが完了していない方は参加できませんのでご注意ください。

※お支払いいただく参加費につきましては、印刷費、WEBシステム運営費、通信費など、諸準備に使用いたしますので、いかなる理由があっても返金等には応じられません。ご了承ください。報告集の代金をお支払いいただいている場合は、欠席された方にも後日送付いたします。



3 参加証の発行

- 参加費の支払いが完了したら、参加証がメールが届く。

※8月17日(土)になっても参加証(メール)が届かない場合は、協議会事務局までお問い合わせください。



4 当日

- 参加証(メール)をプリントアウトのうえ持参し、受付にて提示する。

※代理の方が参加される場合は、参加証(メール)を持参して、当日の受付にてお申し出ください。



シャトルバス(帰り)の申込みについて

シャトルバス(帰り)利用の申込みは、フォーラムの参加申込みとあわせて、「参加申込フォーラム」から行ってください。
 申込みされない場合には、利用できません。

申込期間

**2019年 6月12日(水)10:00
 ~ 7月31日(水)**

参加費

申込区分		参加費	情報交換 会費	報告集	合計
参加のみ	一般	4,000円	-	-	4,000円
	学生	0円	-	-	0円
参加 + 情報 交換会	一般	4,000円	4,000円	-	8,000円
	学生	0円	2,000円	-	2,000円
参加 + 報告集	一般	4,000円	-	1,000円	5,000円
	学生	0円	-	1,000円	1,000円
参加 + 情報 交換会 + 報告集	一般	4,000円	4,000円	1,000円	9,000円
	学生	0円	2,000円	1,000円	3,000円

申込みURL(アドレス)

<https://event.cosortium.or.jp/entry/zenkoku16/>
 もしくは
 「全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム」で検索

全国大学コンソーシアム協議会加盟組織について

全国大学コンソーシアム協議会加盟組織に属している場合、申込みの際に所属組織をご入力ください。ご所属の機関が全国大学コンソーシアム協議会の加盟組織かどうかについては、以下のページをご参照ください。

<https://www.consortium.or.jp/project/zenkoku-conso/office>
 もしくは
 「全国大学コンソーシアム協議会加盟一覧」で検索

お問い合わせ先

全国大学コンソーシアム協議会事務局
 (大学コンソーシアム京都内)

〈受付時間〉 火曜～土曜 9:00～17:00

TEL:075-353-9100

E-mail: alljapan-consortium@consortium.or.jp

会場へのアクセス



熊本交通センターより

【熊本市バス利用】17のりば 約20分

- ◎子飼渡瀬線(こかいわたるせせん) バス停「学園大前」下車
- ◎大江城西線(おおえじょうせいせん) バス停「学園大前」下車
- ◎渡鹿長嶺線(とろくながみねせん) バス停「大江渡鹿」下車 徒歩約5分

【産交バス利用】17のりば 約20分

- ◎大江四丁目・託麻原本通経由 バス停「大江渡鹿」下車 徒歩約5分
- ◎大江四丁目・保田窪新道経由 バス停「大江渡鹿」下車 徒歩約5分
- ◎子飼・託麻原本通経由 バス停「大江渡鹿」下車 徒歩約5分

JR鹿児島本線 熊本駅より

【熊本市バス利用】3のりば(白川口) 約20分

- ◎第一環状線(大学病院回り) バス停「大江渡鹿」下車 徒歩約5分
- ◎中央環状線(大学病院回り) バス停「学園大前」下車すぐ

JR豊肥本線 水前寺駅より

【同駅北口より徒歩】約10分

- 【同駅北口より熊本市バス利用】約3分
- ◎(大江城西線) バス停「学園大前」下車

熊本市電

- ◎電停「味噌天神前」下車 徒歩約15分

熊本空港より

【空港バス利用】約30分

- ◎バス停「味噌天神」下車 徒歩約15分

お問い合わせ先

✓ 申込み・プログラムに関するお問い合わせ

全国大学コンソーシアム協議会事務局 (大学コンソーシアム京都内)

〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下るキャンパスプラザ京都内
 受付時間/火~土曜 9:00~17:00(年末年始を除く)
 TEL 075-353-9100 FAX 075-353-9101
 E-mail: alljapan-consortium@consortium.or.jp

✓ 会場・施設に関するお問い合わせ

一般社団法人大学コンソーシアム熊本事務局

〒860-8555 熊本市中央区黒髪2丁目39番1号(熊本大学構内)
 TEL. 096-342-3924 FAX. 096-342-3925
 E-mail: jimuk@consortium-kumamoto.jp
 URL http://consortium-kumamoto.jp